

野村 連（つなぐ）さん（博士前期課程2年）が化学工学会東京大会2017において関東支部長賞（奨励賞）を受賞しました

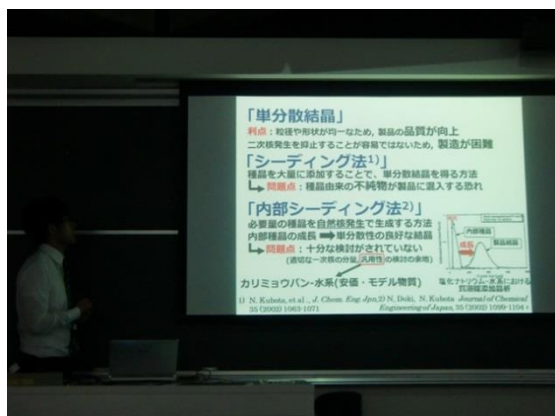
平成29年8月9日から10日に早稲田大学西早稲田キャンパス（東京都新宿区）で行われた化学工学会東京大会2017において、大学院自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士前期課程2年の野村 連（つなぐ）さんが関東支部長賞（奨励賞）を受賞しました。

寸法や形状が揃った高品質な結晶製品を溶液中で製造するには、結晶化の推進力である過飽和度を巧みに操作し、結晶化現象を人の希望通りに進ませる必要があります。野村君は、化学反応を利用した結晶化法を用いるとともに、結晶化の操作を2段階に分割する「2段階反応晶析法」を新たに開発し、過飽和度を巧みに操作することで、結晶製品の高品位化に成功しました。さらに、野村君は、過飽和度がどの程度「巧みに」操作されたかを定量的に評価するための指標である「成長係数」を独自に考案し、実際の実験データをもとに成長係数の計算を行うことで、その有用性を証明しました。野村君の今後の活躍が期待されます。

発表者：野村 連（つなぐ）（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程2年）

（指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：カリミヨウバンの反応晶析における粒径分布挙動



野村 連（つなぐ）君

（左写真）口頭発表の様子、（右写真）表彰状とともに